

## 實習生便り

交通部道路司長

坂田昌亮様

金澤高工 瀬島克仁

謹啓

秋色漸く深み清涼の候と相成りました。

御高堂様には益々御精勵の事と存じ奉賀ます。私儀夏季實習中は一方ならず御厚意にあづかり厚く御禮申上ます。早速御通知申上ぐべき所滿鮮方面見學旅行致し去る9月11日歸津致し以來學期初めてにて何かと多忙にまぎれ御無禮の段不悪御許し下さい。

懐へば7月21日より航路司に參上致し以來遼河治水調査處に出頭し滿洲河川の一般を御教示にあづかり滿洲の土木工事の如何に大規模なるかに驚かされ亦遼陽に參りましてからも遼陽治水調査事務所の皆様の御親切なる御教導にあづかり深く喜んで居ります。又去る8月25日實習生歓迎會を御催し下さいまして厚く御禮申上ます。

其の節「滿洲の感想」に就ての御宿題を受ましたが何分文才の無き者故實習報告感想で御許し下さい。

先づは御禮券々御報告まで

向寒の折御健康備に御祈り申上ます。 敬具

### ◇ 實習報告 ◇

7月21日内地を出發して22日夜釜山に上陸し釜山より急行「光」にて一路新京に向ふ。見る物皆新しい事の奉天驛を過ぎ新京まで一里千里否行けども行けども山無き様に今更滿洲の廣さに感嘆した。

7月25日交通部に出頭する途中馬車でながめた廣々とした野に點々と中央官廳が存在し雄大さに驚いた。

7月25日より7月31日まで遼河治水調査處にて松下技佐に遼河治水計畫々滿洲の氣候殊に雨量に就きて御説明を戴く。

7月31日午前0時0分新京を出發して遼陽に行き、早速遼陽調査所の皆様に面會する。

8月2日午前10時遼陽より橋頭に向ふ。

橋頭街では現場に出張された人と共に王惟一先生の宅に泊す。初めて泊る滿洲家屋大して氣持も悪くないが餘り良くもなかつた。ポケットにしるばせた「滿洲語早わかり」で一寸會話の練習をする。自分の言葉が相手に通じ

るから妙だと思つた。

8月4日橋頭より奉天に來り遼中線の蒲河沿に向奉天より遼中まで4時間半殺人的振動のバスで遼中よりトラックにて20軒位行き民家に着いた。

此の邊が遼中線境で昨日も匪賊が20名出たとかの外には自警團員の警備兵が實彈を裝填して2名従ふ一望千里の平原なれど隅々に至るまで完全に耕作人々は和やかに働いて居る。新興滿洲國の生氣があらて居る。

蒲河沿部落より遠くない現場に行くとい藤氏等觀でカーレントメーターを持つて部隊長然と上つて來り夜は民家に宿る。

滿洲は水が悪いと聞いて居たが今まで大して感じつた。此の地方に來て初めて體驗した。井戸水は河り悪く河水は洪水時のそれの如くである。滿人は平河水を飲む。

民家は相當に良い家だつた。而し南京虫、蚊、しのみ、蠅、あぶらむし等ランプを消すと横行を開始疑られず。日頃元氣の本尊の様な伊藤さんも此の水の爲に惱まされた様子がうかがはれた。

華やかな都會生活に比較して奥地に入りて虫と水賊の警戒に心をゆるめる暇も無くこつこつと調査さ現場の人の苦心苦勞には頭が下つた。

8月5日午前6時蒲河沿を出て奉天を過ぎ、夕方より城子後に來る。城子後は榮盤驛から約5軒の山ある。河水淺く清流だつた。此の所の浮子投下設備場の人の獨創で地物を利用して完全に調備され洪水を無缺に摺む事が出来る事と思ふ。

此所で流量觀測の實習をやらせて戴く。

8月11日遼陽に歸りこれまで御案内下さいました技士の御宅へ參上する。

此の日より豪雨襲來、事務所が俄然活氣を呈し忙なる。1日中殆んど降りつく。市中も浸水した。この雨量240ミリとか、1年中の3分の1降つたとか。

8月12日雨中千山に行き鐵橋より浮子を投下した分間で見變るほどの出水出足の早きは玉錦以上と思

8月13日並木氏東大の天方氏自分3名で再び橋頭ひ王先生宅に滞在する。

橋頭で浮子投下設備に依り浮子を投下して4日間懸命從事した水位は次第に下り平水位となつた。浮

設備の取はずしにかゝつた。  
 8 月 17 日夕方遼陽に歸る。  
 8 月 18 日夕方新京に歸る。  
 8 月 19 日調査處に出頭して仕事を少しばかり手傳さし  
 戴く、市中殆どどのこさず見學した。  
 8 月 24 日 1 ヶ月間の給金を戴き挨拶をして立去つた。  
 督中司長閣下を初め交通部の御一同様の御親切なる御  
 計ひにあつかり無事實習を終了致しこゝに深く御禮申  
 ます。 以上

交通部道路司直轄工事科  
 大石工事科長殿

九州帝大工學部土木工學科一年  
 原 田 昇

この夏は永らく御厄介になりまして誠に有難うござい  
 した。何の御役にも立ちませんでした事を深く御詫び  
 します。「赤い夕日の滿洲に」と歌で知つた滿洲は何か  
 も遠い遠い所に有る馬賊の巢窟で岩山の多い、豊尚ほ  
 き千古の密林でとざされてゐる様な所でとても普通の  
 の住む事の出来ない様な氣持で居りました。此の考へ  
 滿洲事變以來又自分の常識の廣まるにつれ幾分は變り  
 きの小學生時代の考へはなくなり「廣い廣い高粱畑が  
 つて隄城が隠れてゐて列車を襲撃する」と云ふ事位し  
 外に何も知つて居らなかつたのであります。何と認識  
 足らぬの甚だしき事よと全く驚きの外は有りません。奉天  
 京のあの繁華さ、内地の大都會に居るのと少しの變り  
 ない程すつかり内地化してゐるのを見まして全くびつ

くり致しました。唯馬車と滿人の服裝の異つて居るのが  
 滿洲に来て居るのだと自覺させる位で有りました。大連  
 奉天、新京、哈爾濱等、都會地のみを見て、滿洲に行つ  
 て來たと思ふ人が有るならば、之亦認識不足ではないで  
 せうか。此の意味におきまして、此の夏の實習は全く滿  
 人と起居を共にする事によりまして一般滿人の生活を滿  
 喫する事が出来ました事を深く感謝して居ります。

實際内地人は滿洲を知りません。國防上、産業上、又  
 人口問題等あらゆる意味に於て重要な滿洲を、なげかは  
 しい位です。新聞、書物で讀み人の話を聞いてもそれは  
 百聞一見に如かずです。

輝かしい發展途上に有る滿洲の姿を見まして、全國の  
 若人よ往け滿洲へ、廣い滿洲は諸君を待ちかねて居るぞ  
 と絶叫したい氣持で居ります。

クラスの友達には滿洲は良いぞ、來年實習に行くなら  
 ば滿洲に往けと云ひふらした所俺も俺もと今から往きた  
 がつて居る連中が随分出來ました。一人でも多く滿洲へ  
 往つて實情を知つてもらひ度いと云ふ感じは僕一人で有  
 りませうか、否恐らくこの度御世話になりました實習生  
 が皆抱いてゐる事で有りませう。

今や吾國は古今未曾有一大飛躍をなしてゐる秋、日夜  
 重務に御精勵されて居られます事を拜察致しまして誠に  
 心から頭の下る思ひでございます。何とぞ御自愛遊ばさ  
 れまして滿洲國延いては大日本國の爲益々御盡力なさい  
 ます様より御祈念致します。

苦しかつた幾日も今や楽しい、想出となりました。誠に  
 有難うございました。

甚だ簡單で失禮であります之にて感想を終ります。

## 表紙圖案懸賞募集

本土木研究會發行月刊雜誌(建設)の表紙に使用するべき圖案を下記の規定に依り募集致  
 します。皆様奮つて應募下さい。

### 規 定

- 1、圖案は自由なれども土木研究會の表徴を充分に含めること
- 1、圖案には必ず現在使用してゐる文字を記入すること  
 、色彩は2度刷程度とす
- 1、用紙の大 縦26匁 横19匁
- 1、應募枚数は制限なし
- 1、應募締切期限は康徳5年11月31日とす(郵送の場合は差出人所在地郵便所又は局の11月31日の  
 消印とす)
- 1、應募圖案送附先は新京交通部道路司内滿洲土木研究會宛
- 1、應募圖案は一切返還せず
- 1、役員會に於て選考の結果當選の者には薄謝を呈す 1等 1名 2等 2名